

リスニング模試 第2回 解答



自動採点・
学習診断

第1問 小計 第2問 小計 第3問 小計 第4問 小計 第5問 小計 第6問 小計 合計点 / 100

問題 番号 (配点)	設問	解答 番号	正解	配点	自己 採点	問題 番号 (配点)	設問	解答 番号	正解	配点	自己 採点		
第1問 (25)	A	1	1	①	4	第4問 (12)	A	18	18	②	4※		
		2	2	①	4			19	19	①			
		3	3	④	4			20	20	③			
		4	4	③	4			21	21	④			
	B	5	5	①	3			22	22	②	1		
		6	6	④	3			23	23	④	1		
		7	7	②	3			24	24	⑤	1		
第2問 (16)	8	8	①	4				25	25	②	1		
	9	9	①	4			B	26	26	④	4		
	10	10	④	4		第5問 (15)	27	27	①	3			
	11	11	②	4			28	28	④	2※			
第3問 (18)	12	12	④	3			29	29	②				
	13	13	①	3			30	30	③	2※			
	14	14	③	3			31	31	⑥				
	15	15	①	3			32	32	③	4			
	16	16	①	3			33	33	④	4			
	17	17	②	3		第6問 (14)	A	34	34	③	3		
(注) ※は、全部正解の場合のみ点を与える。								35	35	①	3		
B	36	36	③	4									
	37	37	①	4									

第1問

A

問1 1 ①

スクリプト

It is unlikely that Mayumi will be able to get a driver's license.

和訳

マユミは運転免許を取れそうにありません。

- ① The speaker doesn't think Mayumi can get a driver's license.
(話者はマユミが運転免許を取れると思っていない〔取れないと思っている〕。)
- ② The speaker doesn't want Mayumi to drive a car. (話者はマユミに車を運転してほしくない。)
- ③ The speaker thinks Mayumi can get a driver's license easily.
(話者はマユミが簡単に運転免許を取れると思っている。)
- ④ The speaker thinks Mayumi needs to get a driver's license.
(話者はマユミが運転免許を取る必要があると思っている。)

It is unlikely that ... は「…ということはあるそうにない」という意味。that節内の「マユミは運転免許を取ることができるだろう」ということが「ありそうにない」ということなので、正解は①となる。
S don't think (that) ... は「Sは…とは思わない〔…ではないと思う〕」という主語の考えや意見を表す。

問2 2 ①

スクリプト

Quite a few people visited the exhibition on the opening day.

和訳

かなり多くの人々が公開日にその展覧会を訪れました。

- ① The exhibition had a large number of visitors. (その展覧会には多数の訪問者があった。)
- ② The exhibition was not open to everyone. (その展覧会はすべての人に公開されてはいなかった。)
- ③ The exhibition was unsuccessful as expected. (その展覧会は予想どおり不成功だった。)
- ④ The exhibition was visited by only a few people. (その展覧会を訪れた人はほんのわずかだった。)

quite a few ~ は「かなり多くの～, 相当数の～」という意味。つまり「多くの人々が展覧会を訪れた」ということだから、①が正解。

問3 3 ④

スクリプト

I would rather cook dinner at home than go to a restaurant.

和訳

私はレストランへ行くよりも、家で夕食を作る方がいいです。

- ① The speaker doesn't want to eat dinner at home. (話者は家で夕食を食べたくない。)
- ② The speaker is going to eat out at a restaurant. (話者はレストランで外食するつもりだ。)
- ③ The speaker is going to order food delivery. (話者は食べ物のデリバリーを注文するつもりだ。)
- ④ The speaker is reluctant to go out for dinner. (話者は夕食を食べに出かけたくない。)

would rather ... than ~ は「～するよりも…する方がいい」という意味なので、話者は夕食をレストランで食べるよりも家で作って食べたいと思っていることがわかる。よって④が正解。デリバリーを注文するとは言っていないので③は不適切。

語句

◇ be reluctant to do 「…したがらない」

問 4 4 ③

スクリプト

Robin was having an important meeting on Thursday, but it was moved to Saturday.

和訳

ロビンは木曜日に重要な会合がある予定でしたが、それは土曜日に変更されました。

- ① Robin had his meeting on Thursday. (ロビンは木曜日に会合を開いた。)
- ② Robin moved to a new place on Saturday. (ロビンは土曜日に新しいところへ引っ越した。)
- ③ **Robin's meeting was put off to the weekend. (ロビンの会合は週末に延期された。)**
- ④ Robin's meeting was rescheduled to Thursday. (ロビンの会合は木曜日に変更された。)

会合の予定が「木曜日」と「土曜日」のどちらになったかをしっかり聞き取ること。Saturdayがthe weekendと言い換えられている③が正解。was havingは、過去の時点から見た未来の予定を表す過去進行形。

語句

◇ put off ~ 「～を延期する」

B

問 5 5 ①

スクリプト

She saw a white dog without a collar when she left home for work.

和訳

彼女は家を出て仕事へ行く時、首輪のない白い犬を見ました。

選択肢にイラストが含まれる問題では、放送が流れる前に各イラストの差異を確認しておくのがポイント。家から会社に向かうのか、会社から家に向かうのか、また犬に首輪がついているかいないかに注意して聞くこと。without a collarとleft homeから①が正解とわかる。

問 6 6 ④

スクリプト

I really want to work on a tropical island while listening to music.

和訳

私は本当に、熱帯の島で音楽を聞きながら仕事をしたいです。

音楽を聞いているかいないか、熱帯の島に実際にいるかいないかに注意して音声聞く。want to workなので、実際には南の島にいないことがわかる。while listeningは「聞いている間；聞きながら」。以上から正解は④となる。

問7 7 ②

スクリプト

The man came home and sat on the sofa, and then the light suddenly went out.

和訳

男性が帰宅してソファに座ると、突然、電灯が消えました。

電灯がついたところか消えたところか、男性がソファに座っているかいないかに注意して音声聞く。sat on the sofaと (and then) the light ... went outという前後関係を正しく表しているのは②。

第2問

問8 8 ①

スクリプト

W: Which would you rather see, the water or the trees?

M: Being able to see the water would be nice.

W: I think so, too. But I don't want a view of someone else's house.

M: You're right.

和訳

女: 水と木のどちらが見たい?

男: 水を見られるといいだろうね。

女: 私もそう思う。でも、他人の家は見たくないわ。

男: そのとおりだね。

問 What part of their home will they add a balcony to? (彼らはバルコニーを家のどの部分に増築するか。)

イラストを見ながら話の流れを追っていけば、消去法で正解にたどり着ける。「水を見られるといい」から、②と④が外れる。「他人の家は見たくない」ということから、家が見える③も外れて、残った①が正解となる。Being able to see the water (水を見ることができること) は動名詞句で、would be nice (いいだろうね) の主語。

問9 9 ①

スクリプト

W: There's a huge difference in the figures between February and March.

M: Almost double!

W: Why does May look like this?

M: It's OK because we had more visitors than the month before.

和訳

女: 2月と3月の間で数字にとっても大きな違いがあるわ。

男: 2倍近いね!

女: 5月はどうしてこんなふうなのかしら。

男: 前の月よりも来訪者が多かったから、問題ないよ。

問 Which graph are the speakers talking about? (話者たちはどのグラフの話をしているか。)

2月と3月のどちらが多いかはわからないが、「2倍近い」差があるということから、まず③が外れる。次に、残った中で「5月が前月よりも多い」のは①だけであることから、これが正解とわかる。

語句

◇ huge 「莫大な」

◇ figure 「数字; 数値」

問10 10 ④

スクリプト

W: I want to change our company's badge.
M: We should quit using the round one, then.
W: Yes, but I don't want anything too pointy.
M: Simple is best. How about the square one?
W: Agreed!

和訳

女：私は会社のバッジを変えたいわ。
男：じゃあ、丸いのをを使うのはやめた方がいいね。
女：そうね、でも、あんまりとがったのはいやだわ。
男：シンプルがいちばんだよ。四角いのはどうかな。
女：賛成！

問 Which one will the speakers choose? (話者たちはどれを選ぶか。)

新しいバッジの形について「丸くないもの」「あんまりとがっていないもの」がよいと述べられたのち、男性の「四角いのはどうかな」という問いかけに対して女性が「賛成」と答えている。以上から正解は④となる。agreed はここでは間投詞的に用いられている。

語句

◇ pointy 「先のとがった」

問11 11 ②

スクリプト

M: Grandma doesn't like sour things, does she?
W: Wow, you remembered.
M: Of course. And she's been having problems with her teeth, right?
W: Yes. Let's take her some of these because they're soft and easy to eat.

和訳

男：おばあちゃんは酸っぱいものが好きじゃないよね。
女：わあ、覚えていたのね。
男：もちろんさ。それに、歯の具合がずっと悪かったよね。
女：ええ。軟らかくて食べやすいから、これらのいくつかを持って行きましょう。

問 Which will the speakers take? (話者たちはどれを持っていくか。)

「酸っぱいものが好きではない」ということから、まず③のレモンと④の梅干しが外れる。残ったピーナッツとバナナのうちに「軟らかくて食べやすい」のは②のバナナである。

語句

◇ have problems with ～ 「～に関して問題を抱えている」

第3問

問12 12 ④

スクリプト

W: I'll bring home the light blue vase I just sent you a photo of.
M: It's a good buy. Aren't there any gray or red ones for the living room?
W: There aren't any red ones, but how about yellow?
M: Get that one. It'll brighten up the room.

和訳

女：たった今あなたに写真を送った薄い青色の花瓶を家に持って帰るわね。
男：それはお買い得だね。居間用に灰色か赤色はないかな。
女：赤いのは1つもないけれど、黄色はどう？
男：それを買ってよ。部屋が明るくなるよ。

問 What color are the vases the woman will buy? (女性が買う花瓶は何色か。)

- ① Blue and gray (青色と灰色)
- ② Gray and yellow (灰色と黄色)
- ③ Red and blue (赤色と青色)
- ④ Yellow and blue (黄色と青色)

まず、最初のやりとりでlight blueの花瓶を買うことがわかる。そのあとgray, red, yellowという色が話題になるが、最終的に女性がhow about yellow?とたずねて、男性がGet that one. と答えているので正解は④。なお、女性の最初の発言のvaseとIの間には関係代名詞that / whichが省略されている。

語句

- ◇ a good buy 「良い買い物；安い買い物」
- ◇ brighten up ～ 「～ (の雰囲気) を明るくする；～を華やかにする」

問13 13 ①

スクリプト

W: Is the club meeting in the east building or the west building?
 M: It's in the main building.
 W: Oh, then we'd better hurry.
 M: I have something to take care of in the administration building first. I'll join you as soon as I'm done.

和訳

女：クラブの会合は東館と西館のどちらであるのかしら。
 男：本館だよ。
 女：ああ、それなら急いだ方がいいわね。
 男：僕はまず管理棟でしなきゃならないことがあるんだ。終わったらすぐに君に合流するよ。

問 Where will the man go next? (男性は次にどこへ行くか。)

- ① To the administration building (管理棟)
- ② To the east building (東館)
- ③ To the main building (本館)
- ④ To the west building (西館)

前半のやりとりから、本館でクラブの会合があり、2人はそこへ行くことがわかる。ただし、最後に男性が言っている「まず管理棟でしなきゃならないことがある」というのは「会合へ行く前に、まず管理棟へ行く必要がある」という意味だから、①が正解となる。

語句

- ◇ take care of ～ 「(仕事など) を処理する」
- ◇ administration 「管理」
- ◇ join 「～と合流する；～と落ち合う」
- ◇ done 「終えて；済んで」

問14 14 ③

スクリプト

M: Is there a discount on those black shoes over there?

W: No, none of the items over there are discounted.

M: Don't you have any sale items in that color?

W: Not at the moment, but we're expecting some to come in tomorrow afternoon.

M: No problem. I'll be back tomorrow.

和訳

男：あそこの黒い靴は値引きがありますか。

女：いいえ、あちらの商品はどれも値引きはいたしません。

男：あの色のセール商品はありませんか。

女：今はございませんが、明日の午後にはいくつか入る予定です。

男：問題ありません。明日また来ます。

問 How does the man feel about black shoes? (男性は黒い靴についてどう思っているか。)

- ① He doesn't like the color. (彼はその色が好きではない。)
- ② He thinks they are the most expensive. (彼はそれらが最も高価だと思っている。)
- ③ He would like to buy a pair. (彼は1足買いたいと思っている。)
- ④ He would like to buy them now. (彼はそれらを今買いたいと思っている。)

男性は「あそこの黒い靴」に値引きがあるかどうかを店員にたずね、できないと言われたが、「その色(=黒)」でセール品が他にないかと、さらに質問している。このことから、男性は見つけた黒い靴は高価だが、他のものでもいいからもっと安い黒い靴を買いたいと考えていることがわかる。したがって正解は③。男性は「明日また来ます」と言っているので、④は不正解。女性の2つ目の発言の expecting some は expecting some black shoes ということ。

語句

- ◇ discount 「値引き：～を値引きする」
- ◇ at the moment 「(現在時制で) 今は」
- ◇ expect ～ to do 「～が…するだろうと思う」
- ◇ come in 「(商品が) 届く」

問15 15 ①

スクリプト

W: Mary asked me to go to the beach with her on Saturday. Is it OK if I go?

M: The weather forecast says it's going to rain on Saturday.

W: Really? I'd better check with Mary.

M: Perhaps you should go next weekend instead.

W: I'll call her now.

和訳

女：メアリーが、土曜日に一緒にビーチに行こうって誘ってくれたの。行ってもいい？

男：天気予報によると、土曜日は雨になるらしいよ。

女：本当？ 私、メアリーに確認したほうがいいね。

男：代わりに来週の週末に行くべきじゃないかな。

女：メアリーに今から電話するね。

問 Which is true according to the conversation? (会話によると、どれが正しいか。)

- ① The girl might change her plans with Mary. (少女はメアリーとの計画を変更するかもしれない。)
- ② The girl's father does not want her to go to the beach. (少女の父親は少女に海に行ってほしくない。)
- ③ The girl's father will speak to Mary on the phone. (少女の父親は電話でメアリーに話をするだろう。)
- ④ The girl's father will take her to the beach. (少女の父親は少女をビーチに連れて行くだろう。)

少女が土曜日にメアリーと一緒にビーチに行く許可を父親に求めている場面である。父親は土曜日の天気予報が雨なので次の週末にするよう勧めており、それを受けて少女はメアリーに電話をしようとしている。電話では、土曜日のビーチへ行く予定を変更しようと相談すると予測できるから①が正解。父親は次の週末に行くことを提案しているから、ビーチに行かせたくないわけではない。②は不正解。父親が直接メアリーに電話をするわけではないので③も不正解。少女はメアリーとビーチに行く話をしており、父親が連れて行くとの言及はない。④も不正解。

問16 16 ①

スクリプト

M: Our appointment is at one o'clock on Tuesday, so we'll have to fly.
W: Unfortunately, all the flights are booked on that day.
M: I don't want to have to take the first train or take a company car.
W: Neither do I. It's kind of a waste, but let's take a flight the day before.
M: OK.

和訳

男：約束は火曜日の1時だから、飛行機で行かないといけないだろうね。
女：あいにく、その日はすべての航空便の予約が埋まっているのよ。
男：始発電車に乗るのも会社の車に乗るのもいやだな。
女：私もよ。ちょっともったいないけれど、前日の便に乗りましょう。
男：わかった。

問 What do the two people agree about? (2人は何について合意しているか。)

- ① They are going to get to their destination ahead of time. (予定より先に目的地に着く。)
- ② They are going to leave on Monday by train. (月曜日に電車で出発する。)
- ③ They are going to take the first train on Tuesday. (火曜日に始発電車に乗る。)
- ④ They are going to use a company car. (会社の車を利用する。)

女性の最後の発言let's take a flight the day beforeが決め手となる。a flight (航空便) から「飛行機で行くつもり」であるとわかるので、①以外は不適切。the day before (前日) というのは、約束の火曜日の前日の月曜日ということで、それが選択肢ではahead of time (予定より先に) と言い換えられている。

語句

- ◇ fly 「飛行機で行く」
- ◇ book 「～を予約する」
- ◇ Neither do I. 「私もそうだ；私も…しない」(前の否定文を受けて)
- ◇ kind of 「ちょっと～；どちらかといえば～」(ぼかし表現)

問17 17 ②

スクリプト

M: Is there anything I can do around the house for you?

W: Wow, Akira. Thank you for asking. How about doing something in the garden?

M: Can you teach me how to cut the grass?

W: Have you never cut grass before?

M: Lawns are not so common in my town in Japan.

W: Really? Most houses in England have a lawn.

和訳

男：家のことで、僕に何かできることはありますか。

女：まあ、アキラ、聞いてくれてありがとう。何か庭仕事をするのはどうかしら。

男：芝生の刈り方を教えてくださいませんか。

女：今まで一度も芝生を刈ったことがないの？

男：日本の僕の町では芝生はそれほど一般的ではないんです。

女：本当？ イングランドのほとんどの家には芝生があるわ。

問 Why is the host mother surprised? (ホストマザーが驚いているのはなぜか。)

- ① Akira cut the grass in her yard. (アキラは彼女の庭の芝生を刈った。)
- ② She learned about a cultural difference. (彼女は文化の違いを知った。)
- ③ She was asked to cut the grass. (彼女は芝生を刈るよう頼まれた。)
- ④ Something was missing from her garden. (彼女の庭から何かがなくなっていた。)

アキラは芝生の刈り方を尋ねている段階で、まだ刈っていないから①は不適切。最後の発言で、ホストマザーはアキラの町とイングランドの違いについて驚いている様子だから②は適切。庭仕事を頼まれているのはアキラで、ホストマザーではない。③は不正解。庭から何かが失われているかどうかは述べられていないので④も不正解。

語句

◇ lawn 「(庭、公園などの) 芝生」

第4問

A

問18~21 18 ② 19 ① 20 ③ 21 ④

スクリプト

Students in our school were asked when they listened to music. The results of the survey were quite surprising. It's natural to guess that students would listen to music the most on Sundays, when they have free time. However, that was actually the least popular day for listening to music. In fact, the most popular day was Friday. This was followed by Monday. In contrast, the number of students who listened to music on Saturdays was about half the number who listened on Mondays; Saturday wasn't much more popular than Sunday. The other weekdays were about the same, with Tuesday having the highest score of the three.

和訳

私たちの学校の生徒たちが、音楽をいつ聞くのかと質問されました。調査の結果はかなり驚くものでした。生徒は日曜日に最もよく音楽を聞くだろうと予想することは自然でしょう。日曜日は自由時間がありますからね。けれども、実際は日曜日は音楽を聞くのに最も人気のない日でした。実際に最も人気がある日は金曜日でした。その次が月曜日でした。対照的に、土曜日に音楽を聞く生徒の数は月曜日に聞く生徒の数の約半分でした。土曜日は日曜日と比べて非常に人気があるというわけではありませんでした。平日のその他の日はほぼ同じで、3つの曜日の中では火曜日が最も高い数値となっていました。

グラフのタイトルは「あなたはいつ音楽を聞きますか」である。日曜日が最も人気があるだろうという予想に反して、実際は日曜日が最も人気がなかったと述べられているから、**21** が④（日曜日）である。the most popular day（最も人気がある日）は金曜日だから、**18** に②（金曜日）が入る。土曜日は月曜日の約半分ということだから、**20** か **21** が該当するが、最も人気がなかった **21** は日曜日なので、**20** が③（土曜日）となる。Saturday wasn't much more popular than Sunday. は、土曜日は日曜日とあまり変わらないということである。最後の文の The other weekdays は、これまで言及された月曜と金曜を除いた平日、つまり火曜、水曜、木曜を指しており、その3つの曜日の中では火曜が一番数値が高いと言っている。したがって **19** は①（火曜日）である。

語句

◇ survey 「調査」

◇ in contrast 「対照的に；それとは違って」

問22～25

22

②

23

④

24

⑤

25

②

スクリプト

In both August and September at Hotel Forest, you're advised to work for a total of 20 days per month. At Mountain Inn, a big conference nearby has been moved up to August, so the month will be busy. That's why you'll be working a total of 20 days in August and receive 10 dollars more a day than what's on the pay chart. You'll only be working for 10 days in September instead. At Hotel Luxury, you'll be working 20 days in August and half that time in September.

和訳

ホテル・フォレストでは8月と9月のどちらも、1カ月に合計20日間働いてください。マウンテン・インでは、近くで行われる大きな会議が予定を繰り上げて8月になったので、その月は忙しいでしょう。そのため、8月には合計20日間働いて、給料の表に書かれているよりも1日10ドル多くもらえることになります。その代わり9月に働くのは10日間だけです。ホテル・ラグジュアリーでは、8月に働くのは20日間、9月はその半分です。

それぞれのホテルでの月ごとの給料がいくらになるかが問われている。表には3つのホテルの8月と9月の日給が書かれていることから、聞き取るべきは空所になっている月の勤務日数だと予測できる。ホテル・フォレストでは9月に20日間、マウンテン・インでは8月に20日間働くことになるが、マウンテン・インの8月の日給だけは表に書かれた60ドルに10ドルを加えることに注意。ホテル・ラグジュアリーは8月が20日間、9月がその半分となる。以上をもとに、各月の給料は次のように計算できる。**22** $\$50 \times 20 = \$1,000$ (②), **23** $(\$60 + \$10) \times 20 = \$1,400$ (④), **24** $\$100 \times 20 = \$2,000$ (⑤), **25** $\$100 \times (20 \div 2) = \$1,000$ (②)。

語句

◇ be advised to do 「…してください」(強い助言・推奨)

◇ a total of ～ 「合計で～」

◇ conference 「(大規模な) 会議；大会」

◇ move ～ up to ... 「(予定など) を…に繰り上げる」

◇ chart 「図表」

スクリプト

1. Hi, this is Bob. I could record just a guitar and vocals. I can do that on my recording app and send it to you. Fifty dollars would be great, but that's negotiable. Exams start next week so I'd need about 20 days.
2. My name's Helen. I work fast and my fees are reasonable. I can get it done in a week for 40 dollars. But I'm no good at singing, so would it be OK to ask my friend to record? If so, that'll be an extra 15 dollars.
3. It's Kate. Long time no see. I can't wait to hear the song! I can record it, using a piano. I'm busy next week, so can you give me 10 days? I'm good at writing lyrics, so how about 55 dollars for everything?
4. Steve here. I didn't know you wrote music! I can help you out but I need 10 to 12 days. I can ask my brother to help me with the recording. How about 45 dollars, including the recording? Looking forward to hearing from you.

和訳

1. こんにちは、僕はボブです。ギターとボーカルだけなら録音できます。録音アプリを使ってそれを行って、君に送れます。50ドルもらえると素晴らしいけれど、交渉の余地はあります。来週に試験が始まるので、20日くらい必要です。
2. 私の名前はヘレンです。私は仕事が速くて、料金はお手頃です。1週間で終わられて、値段は40ドルです。でも私は歌うのが苦手なので、友達に録音するのを頼んでもいいですか。それでよければ、追加で15ドルになります。
3. ケイトです。お久しぶりですね。その曲を聞くのが待ち遠しいです！ ピアノを使って録音できます。来週は忙しいので、10日もらえますか。私は歌詞を書くのが得意なので、全部で55ドルでどうでしょうか。
4. スティーブです。君が作曲するとは知りませんでした！ 手伝ってあげられますが、10日から12日必要です。兄に頼んで録音を手伝ってもらえます。録音を含めて45ドルでどうですか。連絡を待っています。

問 26 is the person you are most likely to choose. (26 が、あなたが選ぶ可能性の最も高い人です。)

それぞれの人の説明を聞きながら、「A.期間」「B.録音」「C.料金」について表にメモを書き込んでいくことで、正解を導くことができる。BobはAが20日と長すぎる。Helenは録音に追加の15ドルが必要で、計55ドルになるためCの条件に合わない。KateもCの条件に合わない。すべての条件を満たすのはSteveのみで、④が正解となる。

語句

- ◇ negotiable 「交渉の余地のある」
- ◇ be no good at ~ 「～がまったく得意でない」(noは強い否定)
- ◇ Long time no see. 「久しぶりですね。」(くだけた表現)
- ◇ can't wait to do 「…するのが待ち遠しい」
- ◇ lyric 「歌詞」
- ◇ help ~ out 「～を手助けする」
- ◇ Looking forward to ~. 「～を楽しみにしています。」(I'mを省略したくだけた表現)

第5問

スクリプト

Today, we are going to talk about facial recognition. Maybe you use this several times a day when you unlock your smartphone. Your smartphone's camera scans your face, and it opens the lock. That is facial recognition. But facial recognition can do so much more.

Around the world, train lines are installing facial recognition systems. Instead of using tickets, passengers will be able to board trains by simply looking at a camera near the ticket gate. To use this service, passengers must first register their payment information and a photograph of their face using the train line's application. Then, when they pass through the ticket gate, a camera scans their face. When they get off, another camera scans their face and calculates the fare. The fare is paid through their saved payment method.

There are many benefits to this system. Passengers can get through ticket gates and board trains more smoothly because they don't have to spend time at the ticket counter buying tickets or worrying if they have enough cash. This results in smoother and more efficient payment and collection of train fares.

Facial recognition is becoming more widespread, but what happens when it moves from personal property like your smartphone to public spaces like train stations? Many people feel that facial recognition is an invasion of privacy. They don't want to be photographed every time they take a train. Also, it's difficult to use for people who don't have enough money to buy a smartphone or a tablet.

Let's look at people's reactions to using facial recognition at train stations. Each group will investigate public opinion about this type of facial recognition and share the information with the class.

和訳

今日は、顔認証についてお話しします。スマートフォンのロックを解除する時に、これを1日に数回使用することもあるでしょう。スマートフォンのカメラがあなたの顔をスキャンし、ロックを解除します。それが顔認証です。しかし、顔認証はそれよりはるかに多くのことができるのです。

世界中の鉄道路線で、顔認証システムが導入されています。切符を使用する代わりに、乗客は改札口付近のカメラを見るだけで電車に乗れるようになります。このサービスを利用するには、乗客はまず、鉄道会社のアプリを使用して、支払い情報と顔写真を登録しなければなりません。そして改札を通過する際に、カメラが顔をスキャンします。降りる時は、別のカメラが顔をスキャンして運賃を計算します。運賃は保存されている支払い方法を通じて支払われます。

このシステムには多くの利点があります。乗客は切符売り場で切符を購入したり、現金が足りるかどうかを心配したりするのに時間を費やす必要がなくなるので、よりスムーズに改札を通過して電車に乗ることができます。これにより、運賃の支払いと回収がよりスムーズで効率的になるのです。

顔認証はますます普及していますが、それがスマートフォンのような個人の所有物から駅のような公共スペースに移るとどうなるのでしょうか。多くの人々は、顔認証はプライバシーの侵害だと感じています。彼らは電車に乗るたびに写真を撮られたくないのです。また、スマートフォンやタブレットを買うのに十分なお金がない人々には使いにくいのです。

駅での顔認証の利用に対する人々の反応を見てみましょう。各グループは、このタイプの顔認証に関する世論を調査し、クラスで情報を共有してください。

電車での顔認証

◇ 方法

- ◆登録：乗客は写真と支払い情報を登録する
- ◆乗車：カメラが乗客の顔をスキャンする
- ◆降車： 27

◇ 利点

- ◆ 28 を持ち歩く必要がない
- ◆ 29 を通過するのに必要な時間がより少ない

◇ 問題点

- ◆自分に関する 30 を共有されたくない
- ◆ 31 を買う余裕がない人もいる

問27 27 ①

- ① the fare is paid automatically (運賃が自動的に支払われる)
- ② the passenger pays by credit card (乗客がクレジットカードで支払う)
- ③ the passenger registers with the app (乗客がアプリに登録する)
- ④ the passenger takes a photo (乗客が写真を撮る)

電車での顔認証の方法は第2段落で述べられており、降車時のことは第5・6文に When they get off, another camera scans their face and calculates the fare. The fare is paid through their saved payment method. 「降りる時は、別のカメラが顔をスキャンして運賃を計算します。運賃は保存されている支払い方法を通じて支払われます。」と述べられている。したがって①が正解。あらかじめ保存されている支払い方法はクレジットカードとは限らないので、②は不正解。第2段落第3文に To use this service, passengers must first register their payment information and a photograph of their face using the train line's application. 「このサービスを利用するには、乗客はまず、鉄道会社のアプリを使用して、支払い情報と顔写真を登録しなければなりません。」とあり、乗客がアプリに登録するのは乗車前であることがわかるので、③も不正解。カメラが乗客の顔をスキャンするのであって、乗客が写真を撮るわけではないので、④も不正解。

問28～31 28 ④ 29 ② 30 ③ 31 ⑥

- ① card (カード)
- ② entrance (改札口)
- ③ information (情報)
- ④ money (お金)
- ⑤ opinion (意見)
- ⑥ technology (テクノロジー)

28 と 29 は電車での顔認証の利点を表す文を完成する問題。顔認証の利点は第3段落で述べられている。第2文に Passengers can get through ticket gates and board trains more smoothly because they don't have to spend time at the ticket counter buying tickets or worrying if they have enough cash. 「乗客は切符売り場で切符を購入したり、現金が足りるかどうかを心配したりするのに時間を費やす必要がなくなるので、よりスムーズに改札を通過して電車に乗ることができます。」とある。したがっ

て、**28**には「お金(④)」を入れて、「お金を持ち歩く必要がない」とすればよい。また**29**には「改札口(㊟)」を入れて、「改札口を通過するのに必要な時間がより少ない」とすればよい。**30**と**31**は電車での顔認証の問題点を表す文を完成する問題。顔認証の問題点は第4段落で述べられている。第2文にMany people feel that facial recognition is an invasion of privacy.「多くの人々は、顔認証はプライバシーの侵害だと感じています。」とあるので、**30**には「情報(㊤)」を入れて、「自分に関する情報を共有されたくない」とすればよい。また第4文にit's difficult to use for people who don't have enough money to buy a smartphone or a tablet「スマートフォンやタブレットを買うのに十分なお金がない人々には使いにくいのです」とあるので、**31**には「テクノロジー(㊦)」を入れて、「テクノロジーを買う余裕がない人もいる」とすればよい。

問32 **32** ③

- ① Facial recognition systems have been installed to help people find which train they should take.
(人々がどの電車に乗るべきかを見つけることを手助けするために顔認証システムが導入されている。)
- ② Smartphones are being used instead of tickets in order to collect personal information.
(個人情報を収集するために、切符の代わりにスマートフォンが使用されている。)
- ③ The introduction of facial recognition systems in public transport is changing the way people travel.
(公共交通機関への顔認証システムの導入は、人々の移動方法を変えている。)
- ④ Train lines now have apps instead of tickets, which creates a sharp social division between rich and poor. (鉄道路線は切符の代わりにアプリを使用しており、金持ちと貧しい人々の間の社会的分断をはっきりさせる。)

講義全体の流れを見てみよう。第2段落では「世界中の鉄道路線で、切符を使用する代わりに、乗客がアプリに支払い情報と顔写真を登録しておけば、乗車時にカメラが顔をスキャンし、降車時に別のカメラが顔をスキャンして運賃を計算し、運賃を自動的に支払う顔認証システムが導入されている。」ことが述べられている。第3段落では「電車での顔認証システムにより、人々は切符を買ったりするのに時間を費やす必要がなくなるので、より短時間で改札を通過できる。」という利点が述べられている。第4段落では「電車での顔認証システムはプライバシーの侵害とも受け取られ、スマートフォンやタブレットを買うお金がない人々には使いにくい。」という問題点が述べられている。第2段落の内容から、従来の切符を買ってから乗車する移動方法が、アプリへの事前登録で切符なしで乗車できるという移動方法に変化したことがわかる。よって、③が正解。第3段落から、顔認証システムの導入は人々が乗る電車を見つけやすくするためではなく、切符を買わないスムーズな乗車を手助けするためだとわかるので、①は不正解。切符に代わりスマートフォンを導入したのは電車の利用をスムーズにするためであり、個人情報を収集するためではないので、②も不正解。スマートフォンやタブレットを買うお金がない人々には使いにくいとあるが、それが金持ちと貧しい人々の社会的分断につながっているという記述はないので、④も不正解。

語句

- ◇ facial recognition 「顔認証」
- ◇ install 「～を導入〔設置〕する」
- ◇ board 「(乗り物)に乗る」
- ◇ register 「～を登録する」
- ◇ application 「(スマートフォンなどの)アプリ」 = 問27 ③ app 「(スマートフォンなどの)アプリ」
- ◇ calculate 「～を計算する」
- ◇ invasion 「侵害」
- ◇ investigate 「～を調査する」

問33 33 ④

スクリプト

Our group studied the reactions the public had to facial recognition being used in public places. We found that many people support the system. However, the level of support differed depending on age. Here are our findings about what people think.

和訳

私たちのグループは、公共の場所で使用されている顔認証に対する一般の人々の反応を調査しました。多くの人々がこのシステムを支持していることがわかりました。しかし、年齢によって支持の程度が異なっていました。人々がどう考えているかについての私たちの調査結果は次のとおりです。

- ① Older people are more likely to have trouble registering for facial recognition services.
(高齢者は顔認証サービスへの登録に苦労する可能性がより高い。)
- ② Support for public facial recognition has been increasing recently especially among the older generation.
(最近、特に高齢者世代の間で公共の顔認証への支持が増加している。)
- ③ Young people are more likely to own smartphones, so they support facial recognition less.
(若者はスマートフォンを所有する可能性がより高いため、顔認証をあまり支持していない。)
- ④ Young people have more concerns about privacy issues than older people do.
(若者は高齢者よりもプライバシーの問題についてより大きな懸念を抱いている。)

グラフのタイトルは「公共の場所での顔認証への支持」で、年齢が高くなるほど支持率が高いことが読み取れる。講義本文の第4段落によると、電車での顔認証の問題点は「プライバシーの侵害」と「スマートフォンやタブレットを買うお金がない人が使いにくい」ことであった。このことから、公共の場所での顔認証への支持が低い若者は、支持が高い高齢者よりもプライバシーの問題に懸念を持っている可能性があるので、④が正解。また、若者がスマートフォンを所有する可能性が高いということは講義本文で述べられておらず、顔認証の支持率が低いこととの関連性も不明なため、③は不正解。講義本文に顔認証の問題点として、高齢者が登録に苦労するということは述べられておらず、グラフによれば高齢者からのこのサービスへの支持は高いことから、①も不正解。グラフは特定の一時点の支持率を示しているだけで、一定期間の支持率の変化は不明なので、②も不正解。

語句

◇ depending on ～ 「～によって；～に応じて」

第6問

A

スクリプト

Tyler: You know, maternity leave is widespread but not paternity leave. That's not fair, don't you think, Fumi?

Fumi: Well, Tyler, my cousin took a week off when his wife had a baby.

和訳

タイラー：あのさ、女性の出産・育児休暇は広く普及しているけれど、男性の育児休暇はそうでもないよね。それって公平じゃないと思わないかい、フミ？

フミ：ええと、タイラー、私のいとこは奥さんが赤ちゃんを産んだ時1週間の休みを取ったわよ。

Tyler : That's good, but a week is not long enough.
Fathers should be given more time to bond with their baby.

Fumi : He could have stayed home longer, but he didn't want to miss too much work. He thought a long absence might impact his professional reputation.

Tyler : He shouldn't feel bad for being a good father.

Fumi : But that's how it is.

Tyler : If companies gave more time off to new fathers, taking paternity leave would be the norm.

Fumi : I don't know. Many fathers still wouldn't take it because most companies don't pay a regular salary during the leave.

Tyler : Something needs to be done about that, too!

タイラー：それはいいね。でも1週間では長さが十分じゃない。赤ちゃんと絆を深めるために父親はもっと多くの時間与えられるべきだよ。

フミ：いとは、もっと長く家にいることもできたけれど、あまりに多く休むことは望まなかったの。長く不在にすると仕事上の評判に影響があるかもしれないと思ったのね。

タイラー：良き父親であることを悪いと思うべきじゃないよ。

フミ：でも、それが現実なのよ。

タイラー：会社が父親になる人たちにもっと休みを与えれば、男性が育児休暇を取るのは普通になるだろうにね。

フミ：どうかしら。ほとんどの会社が休暇中は通常の給料を支払わないから、多くの父親はまだ育児休暇を取らないのでしょうね。

タイラー：それについても何かしなきゃいけないな！

問34 34 ③

問 What is Fumi's main point? (フミの発言の要点は何か。)

- ① Paternity leave does not always improve the father-baby relationship.
(男性の育児休暇が、父親と赤ちゃんの関係を必ずしも向上させるとは限らない。)
- ② Paternity leave helps workers enhance their reputation.
(男性の育児休暇は、働く人の評判を上げるのに役立つ。)
- ③ Paternity leave is not a realistic option for some people.
(男性の育児休暇は、人によっては現実的な選択肢ではない。)
- ④ Paternity leave is recommended only if it's a short period of time.
(男性の育児休暇は、それが短期間である場合にかぎり推奨できる。)

フミは自分のいところが「(育児休暇で)長く不在にすると仕事上の評判に影響があるかもしれない」と考えたことについて、3つ目の発言で「それが現実なのよ」と理解を示している。また、最後の発言で「ほとんどの会社が休暇中は通常の給料を支払わないから、多くの父親はまだ育児休暇を取らないのだろう」と男性が育児休暇を取りにくい事情を述べていることから、フミは③のように考えているとわかる。いところが育児休暇を1週間しか取らなかったことに理解を示しているのは、長期の休暇は取りにくいのが現実だと考えているからで、④のような考えは示してない。

問35 35 ①

問 What is Tyler's main point? (タイラーの発言の要点は何か。)

- ① Companies must take action to change the current situation regarding paternity leave.
(男性の育児休暇に関わる現在の状況を変えるために、会社は対策を取らなければならない。)
- ② Companies should give longer paternity leave than maternity leave.
(会社は、女性の出産・育児休暇よりも長い男性の育児休暇を与えるべきだ。)

- ③ Fathers are not helpful when it comes to taking care of new babies.
(新生児の世話をするとすると、父親は役に立たない。)
- ④ Fathers should not take paternity leave for granted.
(父親は、男性の育児休暇を当然のことと思うべきではない。)

タイラーは、男性の育児休暇が女性の出産・育児休暇ほど普及していないことに終始、批判的な立場である。4つ目の発言 If companies gave more time off to new fathers, taking paternity leave would be the norm. (会社が父親になる人たちにもっと休みを与えれば、男性が育児休暇を取るのは普通になるだろうに) は、仮定法過去を用いた表現で、現実(会社はあまり休みを与えていない)とは異なることを想定して述べたもの。ここから男性の育児休暇が社会に浸透するよう、会社がもっと休みを与えるべきだと考えていることがわかる。また最後の発言 Something needs to be done about that, too! の that は直前にフミが言った「ほとんどの会社が休暇中は通常の給料を支払わないから、多くの父親はまだ育児休暇を取らない」という現状を指す。以上より「会社が対策を取るべきだ」という①が正解と判断できる。

語句

- ◇ maternity leave 「(女性の) 出産・育児休暇」
- ◇ take ~ off 「~の期間の休みを取る」
- ◇ miss work 「仕事を休む; 欠勤する」
- ◇ reputation 「評判; 名声」
- ◇ That's how it is. 「そういうものだ; それが現実だ」
- ◇ norm 「標準; 普通のこと」
- ◇ 問34② enhance 「~を高める」
- ◇ 問35④ take ~ for granted 「~を当然と思う」

B

スクリプト

Mark: We hardly hear about Click and Collect in Japan, right, Misa?

Misa: I don't know anything about Click and Collect. What is it, Mark?

Mark: It's a way to order something on the Internet and then receive it somewhere other than your home, such as a shop, delivery box, convenience store, and so on. Julia, you probably know about it.

Julia: Yes, there are now many pick-up counters for orders in the U.K., and I heard the service is also growing in Japan.

Misa: Oh, really?

Julia: Yes, and we don't miss deliveries, so it's a convenient system.

Misa: I want to give it a try! How about you, Minoru?

和訳

マーク：日本ではクリックアンドコレクトのことはほとんど耳にしないよね、ミサ？

ミサ：私はクリックアンドコレクトについてはまったく知らないわ。それは何なの、マーク？

マーク：それは、インターネットで何かを注文して、店、配達ボックス、コンビニとか、自宅以外の場所で受け取る方法だよ。ジュリア、君はたぶん知っているよね。

ジュリア：ええ、イギリスには注文したものの受け取りカウンターがたくさんあって、日本でもそのサービスが増えていると聞いたわ。

ミサ：あら、本当？

ジュリア：ええ、配達を逃さないから、便利なシステムよ。

ミサ：やってみたいわ！ ミノル、あなたは？

Minoru: Well, shopping on the Internet strikes me as a little dull. I prefer shopping at real stores. Are you a Click and Collect person, Mark?

Mark: Actually, I like to choose the things that I want to buy after seeing the actual products. So, for people like me, Click and Collect is not so appealing. I think many people feel the same way.

Julia: I understand. But even so, I hope that Click and Collect becomes more widespread in Japan.

Misa: Me too, Julia.

ミノル：ええと、インターネットでの買い物は少し退屈だと思う。僕は実店舗で買い物をする方が好きだな。君はクリックアンドコレクト派かい、マーク？

マーク：実は、実際の商品を見てから、買いたいものを選ぶのが好きなんだ。だから、僕のような人にとっては、クリックアンドコレクトはそれほど魅力的ではないね。多くの人が同じように感じていると思うよ。

ジュリア：わかるわ。それでも、クリックアンドコレクトが日本でもっと普及することを願うわ。

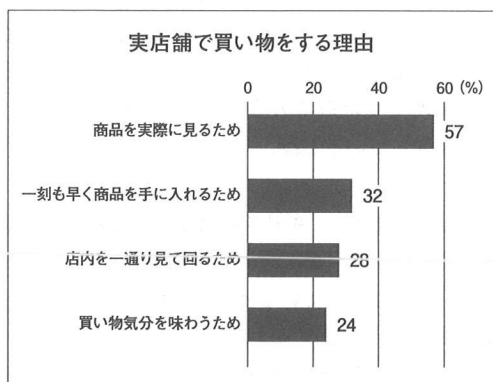
ミサ：私もよ、ジュリア。

問36 36 ㊸

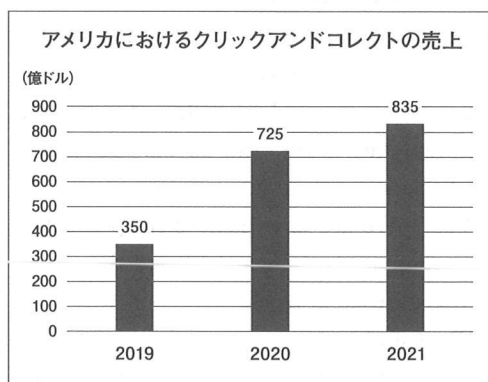
ミサは3つ目の発言で、I want to give it a try! 「やってみたいわ!」と述べており、利用に積極的である。ジュリアは2つ目の発言で、it's a convenient system 「便利なシステムよ」、3つ目の発言で、I hope that Click and Collect becomes more widespread in Japan 「クリックアンドコレクトが日本でもっと普及することを願うわ」と肯定的な意見を述べており、利用に消極的ではないことがわかる。ミノルはshopping on the Internet strikes me as a little dull. I prefer shopping at real stores. 「インターネットでの買い物は少し退屈だと思う。僕は実店舗で買い物をする方が好きだ。」と述べており、利用に積極的ではない。マークは最後の発言で、for people like me, Click and Collect is not so appealing 「僕のような人にとっては、クリックアンドコレクトはそれほど魅力的ではないね」と述べていることから、利用に積極的ではない。つまりクリックアンドコレクトの利用に積極的ではないのはミノルとマークなので、正解は㊸。

問37 37 ㊶

㊶

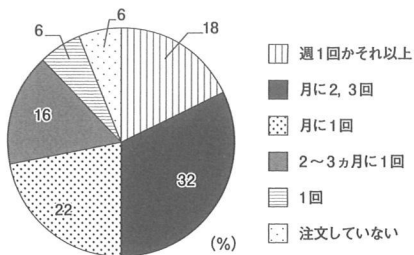


㊷



③

直近 6ヵ月以内のオンラインショッピングの頻度



④

オンラインで最も多く購入された商品

1	家電製品	60%
2	書籍	59%
3	コンピューター機器	57%
4	日用品	54%
5	CD / DVD	50%

マークの最後の発言に, I like to choose the things that I want to buy after seeing the actual products. 「実際の商品を見てから, 買いたいものを選ぶのが好きなんだ。」, I think many people feel the same way. 「多くの人が同じように感じていると思うよ。」とある。したがって, 「実店舗で買い物をする理由」というタイトルで, 「商品を実際に見るため」という回答が最も多いという結果を示す①のグラフがマークの意見を最もよく表している。ジュリアが1つ目の発言で, イギリスのクリックアンドコレクトについて触れているが, アメリカの状況については会話に出てこないで, ②は不正解。オンラインショッピングの頻度や, オンラインで多く購入される商品についても会話に出てこないで, ③, ④も不正解。

語句

- ◇ hardly 「ほとんど～ない」(notより弱い否定)
- ◇ somewhere other than ～ 「～以外のどこかで」
- ◇ delivery box 「配達ボックス」
- ◇ pick-up counter 「受け取りカウンター」
- ◇ give it a try 「試しにやってみる」
- ◇ strike 「～に印象を与える」
- ◇ dull 「退屈な」
- ◇ product 「商品」
- ◇ appealing 「魅力的な」
- ◇ widespread 「普及した」
- ◇ ① physical store 「実店舗」
- ◇ ① in person 「直に」
- ◇ ③ frequency 「頻度」
- ◇ ④ appliance 「器具; 機器」
- ◇ ④ daily necessity 「日用品」

